125

						平成23	年行政	事業	レビュー:	シート	<b>~</b> (夕	ト務省)		
事	業名	核物	物質等テロ	行為防止特別	基金协	业出金(任意拠出金)	担当部	局庁	軍	『縮不拡	拡散•科学部		作	<b>戓責任者</b>
	関始・ 予定)年度	2		平成13年	平成13年度開始		担当課室			国際原子力協力室			室長 羽鳥 隆	
会記	计区分	— <u>A</u>		一般	<b>设会</b> 計		施策名		VII-1 国際 際貢献	Ⅲ-1 国際機関等を通じた政務及び安際貢献			全保障分野に係わる国	
根拠法令 (具体的な 条項も記載)					第4条第3号		関係する計画、 通知等			国際原子力機関(IAEA)からの要請				
(目指潔に。	の目的 す姿を簡 3行程度 J内)	に設	置された		、同基	を受け、核物質や を金を通じて、安全								
(5行程	<b>業概要</b> 建度以内。 添可)	原子 て実	力関連が 施する。	施設における また、右プロ	国内	図する諸国におい 計量管理制度確 クトを円滑に実施 管理を行う専門家	立のための するとともに	技術 、IAE	協力(機材供- Aの核セキュ	与、セミ	ナー実施、専	門家の派	豊等)る	をIAEAを通じ
実加	<b>拖方法</b>	口直	接実施		]業務	委託等	口補助		口貸付		■その他			
	<b>算額</b> ·					20年度	21年度		22年度 52	ŧ	23年	度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算			11	10						-	
予:			補正予算			_		-			_			
執	<b>行額</b> ::百万円)		繰越し等											
	L. [] / J   J	.,,,	41.7-	計 		11	10		52		_			
	目標及び	執行額			11		10		52					
		執行率(%)			100%		100%		100%				_	口無法
成果				成果				単位	- 10	Ę	21年度	22年	度	目標値 (23年度)
	果実績 <b>小カム</b> )	毎年1回, 主にアジア諸 を実施し, 人材育成に努			めるとともに、専門家1		从木大顺	セミナー・者数	<sup>参加</sup> 80		0	30		_
()-)[/][]			AEA事 強化にす		し、IAEA核セキュリティ		達成度	%	100		100	100	)	
~~ #L1	him nat				指標			単位	20年度	Ę	21年度	22年	度	23年度活動見込
活動指標及び活動実績(アウトプット)		一次20千度   近田並みです			マジア諸国を対象としたセミ 以上が参加。また、平成2 を利用し、専門家1名をIA		2 (当初目込	セミナ一併	2		0	(1)		— (1)
		同一の行事に他国からの拠出かるものもあるため、算出は困難。				が利用されてい	算出根拠		ı					
	費 目 23年度当			23年度当初	予算	24年度要求			主な	3. 増減理由				
平成23・24年度予算内訳		計		_		-								

事業所管部局による点検									
	評価	項目	特記事項						
目的・予算	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。							
	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。							
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。							
資金の流れ、費目・	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。							
	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。							
	_	受益者との負担関係は妥当であるか。							
	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。							
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。							
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。							
動実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。							
績、	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。							
成果	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか							
実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。							
点検結果	国際的な核セキュリティ(核テロ対策)は我が国の安全保障につながる重要な取組であり、国が実施すべき事業。国際的な核セキュリティ強 も はの取組で中心的な役割を果たしているIAEAに専門家を派遣し、その活動強化に貢献するとともに当該分野での支援のニーズが高いと思 われる原発新規導入・拡大国を対象としたセミナーを知見のあるIAEAを通じて実施することにより、効果的な事業を実施できた。								
	ll	予算監視・効率化チームの所見							
	_								
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)						
_									
		補配(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となってし	いる場合はその結果も記載)						